

平成 24 年度

在外教育施設派遣教員帰国報告会資料



大連と日本のかけ橋に

～大連日本人学校の教育活動～

平成 21 年度派遣教員
朝霞市立朝霞第十小学校
教諭 松本 欣巳

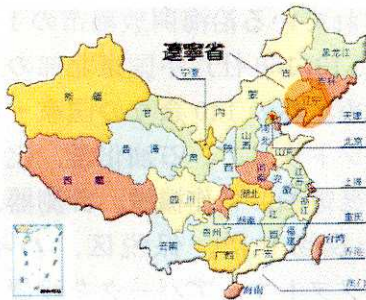
1 はじめに

平成 21 年 4 月に大連日本人学校に赴任してからの 3 年間、異国の地での生活に戸惑いながらも日々の教育活動を行ってきました。文部科学省派遣の教員、現地採用の教員、そして現地スタッフが丸になって、児童生徒のために教育活動を行ってきました。ここでの経験、そして大連日本人学校での教育活動を紹介します。

2 中国・大連の概要

【地理・気候】

大連市は中華人民共和国の東北部、遼東半島の南端に位置し、仙台市と同程度の緯度である。半島は東の黄海、西の渤海に囲まれている。



三方を海に囲まれているため海洋性の特徴をもった大陸性モンスーン気候で、四季がはっきりしている。

しかしながら日本と比較すると、雨が少なく乾燥しており、秋から春にかけては風の強い日が多く、街全体がほこりっぽくなる。また夏でも日本のようなじめじめとした梅雨の時期がほとんどない。しかし、ここ数年は地球温暖化などの影響からなのか 30℃を越す日や雨の日も多くなり、湿度の高い日もある。日本の梅雨のような時期が続き、深い霧に覆われる日も多くなっている。

冬は中国東北部の内陸部に比べると温暖で過ごしやすいと言われているが、やはり寒さは厳しく、朝や夕方は-10℃前後、日中は 0℃前後という日が多い。雪が一度降ると、路面等がすぐに凍り付いてしまうので、車が走れない状態にもなる。海が近く、冬は乾燥した強風が吹くために、体感温度はさらに低い。

【歴史】

大連が歴史舞台に出てくるのは 1894 年に勃発した日清戦争以降である。日清戦争後に行われた下関条約において、大連を含めた遼東半島全体が日本の租借地となった。しかしながら三国干渉によって遼東半島は中国に返還された。その後、旅順と大連はロシアによって租借地となり、以後はロシアによって植民地化されていく。大連 (Dalian) という地名はロシア語の「ダ



大連駅

ーリニー（遠い地）」という呼び名から来ているとされている。大連市内には広場が多くあり、広場を中心として放射状に道路が伸びるように街並みが整えられているが、これらの大部分はロシア統治下で整備されたものである。

その後、1904年に勃発した日露戦争とその講和条約であるポーツマス条約の結果、日本は大連と旅順をロシアから引き継いで租借した。以後40年間にわたって、日本は大連を植民地として支配した。満州鉄道のもとでインフラ整備も進み、日本風の地名が付けられていった。現在でも建物などに日本統治時代の名残を感じるものが多い。



中山広場



中国銀行（旧横浜正金銀行）

【人口・民族】

大連市の2010年度の総人口は約586万人で、そのうち38.8%は農業人口である。民族は、漢民族が全体の94.6%を占めており、その他には朝鮮族、満州族、回族、シボ族、モンゴル族など、45の少数民族が住んでいる。南方と比較して北方の人の性格は「素朴、誠実、忍耐強い」といわれている。宗教は、主にキリスト教、イスラム教、仏教、道教の4宗教の信仰者が多いとされている。中国語については標準語である普通語が使われているが、街中では大連方言の中国語が使われていることも多い。

【経済・産業】

大連市は、全国に14カ所指定されている沿海開放都市の1つで、海外から多くの投資が導入され（外資企業数は2010年末現在で13,168社）中国東北部の工業、商業、貿易等の中心となっている。特に大連港は、日本をはじめ世界の140余りの国家・地区と海運航路を結んでいる。大連の主幹産業には、機械や電子、ソフトウェア、石油化学、化学、医薬、自動車（部品）がある。このうち機械は造船や一般機械、発電機、工作機械、計測器、農業機械等となっている。

大連市では経済技術開発区を皮切りに、保税区、ハイテクパーク、ダブルDポート（Digital&DNA）、輸出加工区、ソフトウェアパークを設置し、中国企業のみならず日・米・韓等外資系企業を積極的に誘致している。現在、大連市の駐留企業は170社に達している。通用電気（GE）、IBM、アクセンチュア、ソニー、パナソニック、三菱、東芝、ノキアなどグローバルトップ企業が多く駐留している。また、大連市開発区には、インテルが中国で初めての大規模半導体工場を建設し、2010年から生産を開始している。大連に進出している日系企業は2010年末現在で3,882社と、大連市の産業の大きな部分を担っている。日本との経済的な関係も深く、大連市の貿易相手国は、輸出入とも日本が最大の相手国となっている。これらにより大連市の経済は過去十年間二桁成長を続けることができている。特にここ数年はIT産業の発展が目覚ましく、「中国アウトソーシングサービス都市」として認定されており、DellやHPなどのパソコンメーカーの日本語サービスセンターも大連に置かれている。

日本との姉妹都市提携も盛んで、現在では北九州市（福岡県）、舞鶴市（京都府）、愛媛県（友好交流）、青森県（友好交流）、七尾市・金沢市（石川県）、玉名市（熊本県）、天童市（山形県）、荒川区（東京都）等と交流が行われており、県人会組織等もある。現在、大連に長期駐在の日本人は2011年6月現在で6,565人にも上り、年間57万人（2010年）になる。NHKで「坂の上の雲」が放映されたこともあり、大連を訪れる人は非常に多い。



北大橋

